



# 尚操



〈発行所〉

鳥取県立倉吉西高等学校  
尚操会  
〒682-0925  
鳥取県倉吉市秋喜20  
倉吉西高等学校内  
0858(28)-1811  
印刷 勝美印刷(株)  
0858(35)-4411

## 会長挨拶



尚操会会長  
藤井 幸博  
(西高二十四回)

## 来年の総会を楽しみに

年(令和4年)総会後の講師をお願いしましたところ、ご快諾いただくことができました。県警音楽隊のご活動や、母校吹奏楽部設立時の「苦労話とエピソード」など、興味深いお話が伺えると思いますので、皆様も来年のご講演をぜひ楽しみに、1年間お待ちください。

平素より本会の活動につきましては、会員皆様のご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございます。コロナ禍の生活も1年半となりましたが、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルス感染症に罹患なさった会員及びご家族の皆様には心よりお見舞いを申し上げます。

6月に入り、新型コロナウイルスの感染者は全国的に減少し、東京など7都道府県は、まん延防止等重点措置に移行しました。県内では感染者がゼロの日も続き、感染拡大は落ち着いてきたように見えます。しかし、インド型等の感染力の強い変異ウイルスの増加が報告されるなか、7月には東京オリンピック・パラリンピックの開催が予定されており、感染のリバウンドや第5波の到来が懸念されております。そのため、大変残念ですが、8月に予定しておりました本会総会を中止することになりました。昨年に続き、2年連続で総会を開催できないことは異例の事態ですが、コロナ禍という状況に鑑み、ご容赦いただきますようお願いいたします。

今年の総会後の講演は、西高25回生である菅埜達人さんに講師をお願いしていました。菅埜さんは鳥取県警察音楽隊で楽長を務められるなど、当地での活躍は皆様にご存じのとおりですが、母校の吹奏楽部は、なんと菅埜さんが在学時に立ち上げられたそうです。今回、菅埜さんのお話をお聞きできなくなったことは大変残念ですが、菅埜さんに来

ところ、嬉しいお知らせがあります。母校の、自転車競技部に所属しておりました山根将太さん(西高63回)と、鳥取県初の女子競輪選手宮本杏夏さん(西高67回)のおふたりが、日本競輪選手養成所を卒業され、この5月競輪選手としてデビューを果たされました。おふたりに心からお祝いを申し上げます。

日本競輪選手養成所のホームページを拝見したところ、分刻みでスケジュールが組まれ、1日の自由時間はわずか1時間余り。携帯電話やスマートフォンを持ち込みは禁止され、外出にも制約があるとのこと、選手候補生の方々は大変厳しい規律のなかで訓練に励んでいらっしゃる感じが伝わります。コロナ禍という特殊な状況下のなかでそうした厳しい鍛錬を経て、おふたりが見事に養成所の卒業を認められたことに、励まされる思いがする方も多いのではないでしょうか。会員のなかには競輪をあまりご存じないという方もいらっしゃるかと思いますが、ぜひおふたりの活躍を注目していただき、応援していただきますようお願いいたします。

全国でワクチン接種が進んでおりますが、新型コロナウイルス感染症の収束にはもう少し時間がかかるようです。来年の8月の総会が笑顔で開催できますように、いま私たちにできることを地道に続けていきたいと思います。会員の皆様、そしてご家族の皆様のご健勝とご活躍を祈念してご挨拶いたします。

## 花・水・木



教頭  
亀井 修平

今年4月より倉吉西高等学校教頭を拝命した亀井修平と申します。8年前まで本校で勤務していたこともあり、懐かしさを感じながら日々の業務に取り組んでいます。立場は変わりましたが、生徒の可能性を引き延ばすことを大切にする姿勢は変わらずに務めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。

本校に勤務していた平成25年度までの9年間を思い返すと、私自身を大きく成長させてもらった場所だったことを感じます。競技歴のないサッカー部の顧問となった私を温かく迎えてくれた当時の部員たちとともにサッカーの勉強を始めたことがきっかけで、団体にも関わらせていただいた経験や進路指導主事や教務主任としてチャレンジグループ活動やグループ制の立ち上げ、大学教授を招聘して実施した授業改革などに携わった経験が、私自身の成長につながり、今の自分の根幹をなしていると思っています。多くの生徒の成長に支えられ、できない理由を探すのではなく、どうやったら可能性が広がるかを考えながら、またそのことを楽しみながら過ごした日々を懐かしく感じています。在校生に対しても、それぞれが持っている良さや可能性を最大限に引き延ばすことができるよう、教職員が一つになって生徒の成長を促していきたいと思っています。尚操会のみならず、様々なお話をすることもあるかと思いますが、お力添えを賜りますようよろしくお願い致します。

### お知らせ

学校ホームページに加えて、今年度から倉吉西高等学校公式インスタグラムを開設しました。生徒たちの情報を時機を逃さず発信していきますので、ご活用ください。



# コロナ禍での学校生活

校長 山口 宏志

尚操会会員の皆様方には、日頃より温かいご支援をいただき、心から感謝申し上げます。令和3年4月より、校長として着任いたしました山口宏志と申します。どうぞよろしく願います。

倉吉西高にとっても、約1年前から、新型コロナウイルス感染症の影響が開始、昨年度はいろいろなことが「中止」の連続でした。鳥取県高校総体・中国高校選手権・インターハイ等の部活動の各種大会や、大切な授業までもが「臨時休業」によって実施できなくなりました。本校における西高祭や研修旅行などの学校行事も、延期や縮小の対応を迫られました。学校生活においても「新しい生活様式」へと変わり、マスクの着用・密を避ける・手指消毒・換気などの対応を継続して行っています。「マスク着用」が当たり前の生活

になったことから、お互いが表情を確認し、言葉を選びながら会話をするという、コミュニケーションの大切さも、改めて感じているところです。ワクチン接種が少しずつ進んでいるものの、まだまだ先の見えない状況は、しばらく続くのでしようが、1年前のような「何もできない」状況から、今は「どんなやり方ならできるのか」「どんなことならできるのか」と、捉え方が変わってきています。一日も早い「収束」を願いながら、様々な制約を受けつつも、今できることを毎日模索し、この「苦難」を乗り越えたいと思います。3年後の令和6年6月16日に、本校創立110周年を、尚操会会員の皆様方とともに無事迎えられることを強く願い、ご挨拶とさせていただきます。



# 『まねてくれよう青春学園ドラマの ような感動の青春の日々』

西高24回卒業生 (昭和52年) 福井 輔

1974年4月、私はいわゆる醤油の匂いのある余戸谷町校舎に入学しました。本校舎は鉄筋コン

クリート。1組から5組は女子クラス。6組、7組の男女共学クラスは生徒用男子トイレも無い西側

の木造校舎でした。292(？)人中男子が47人だったような。とにかく女子ばかりで、廊下を横並びで歩く数人の女子先輩の姿に圧倒されていました。生徒会長も女子。執行部も女子が多かったと思います。しかし、いざ生徒総会になると喧々諤々の議論。生徒会の自治が確立していました。ウイーンの森、とても盛り上がった文化祭。古き良き時代の風景です。

1学年の12月頃、全校生徒が椅子を持って長蛇の列を作り、秋喜校舎へ移動。新校舎はまだまだ工事中の箇所も多く、テニスコートや中庭は沼地の様。渡り廊下を歩いておられた中島校長先生が中庭に足を踏み外され膝までズブズブとはまってしまい、数人で救出したこともありました。完成された歴史ある余戸谷町校舎に比べ、秋喜校舎は真新しい校舎以外は何もなく、これから「新たな歴史をつくれるだろうか!」と心もとなく感じました。私たちは余戸谷町校舎の最後の年と、秋喜校舎の最初の2年間の2つの倉吉西高で学んだことになりました。

数年前の私達の学年の同窓会。田村先生が「あの頃の倉吉西高は、男女とても仲が良く、先輩後輩の垣根も無く、先生との関係もとても良好。あの学び舎には高校教育の原点があった様に思う。」と話されました。あの頃とは私たちの学年の前後の生徒達だと思います。

女子に埋もれかけた少数派の男子生徒に先生たちが発破をかけます。そんな時代でした。入学直後、部活に入らず友達と毎日ぶらぶら。しかし、誰からともなく「これではダメだ!部活に入ろう!」となり誘われるまま陸上部入へ。顧問は順天堂大学卒業2年目の高塚先生。まるでテレビの青春学園ドラマ。本当に皆で夕日に向かって走っていました。それはそれで楽しかったなあ。

喫茶アローで2学年先輩に「頑張れ」と涙ながらの説教。県大会のリレーで先輩の魂の力走に感動。中国大会で先輩の付きっ切り

のサポートに心を動かされ。伊豆大島合宿で友達と脱出計画。2年半、黙々と砲丸を投げ続ける同級生。私は根気がない少年でしたが、先生方の熱血指導を受け、先輩や後輩との感動の日々を送り、同級生との熱い友情などを経験しながら、ハードルを始めて僅か2年でインターハイ2位になることができました。ちよつと信じられない話ですが、あれは田村先生のお話のように、あの時代の倉吉高の学び舎にあった。まるでテレビの青春学園ドラマのような感動の青春の日々。が巻き起こした奇跡だなあと思っています。

## 尚操会から倉吉西高へ寄贈しました

令和2年度の尚操会の取組として、書架2連とアルコールディスプレイ3台を寄贈しました。贈呈式を令和2年12月17日に倉吉西高校応接室で行い、藤井尚操会長から、生徒会長の山田さんに目録を贈呈しました。書架は、図書館に設置し生徒の読書推進に、アルコールディスプレイは生徒玄関と職員玄関に設置し、コロナ対策に役立てていただきたいと思います。



中央がアルコールディスプレイ



早速、書架も活用中

寄稿文



大学に入学して

社会人基礎力

西高第68回卒業生（令和3年） 小倉 凪人

こんにちは、今年高校を卒業し、現在大学1年の小倉です。私は県内の大学に進学しました。新型コロナウイルスが全国で拡大する中、鳥取はあまり心配はいらさないだろうと入学前は思っていました。ところが、大学生活が始まると、全国から学生が来るので少し怖いなあと感じることもありましたが、初めの数週間は問題なく対面で講義が受けられましたが、1ヵ月も経たないうちに学内でクラスターが発生し、それから現在までオンライン講義という形で授業をしています。今では人数の少ない講義などは対面で受けることができ、またサークル活動も開始され、回復段階にあります。出だしから暗い感じになってしまいましたが、3ヵ月ほど生活してみても大学生活は自由で楽しいと感じます。自由であるが故にある程度のことには自分でしなければいけません。食事に

関して言えば、お昼は学食で食べていますが、朝と晩は自宅で作って食べています。私は、小学生の頃から料理が好きでよく自分で作っていたので、現在の自炊生活は苦ではなく楽しいです。大学生になるとお金に気を遣うので、できるだけ自炊して節約することを心がけています。また、スケジュール管理も大事だと感じます。高校までの生活は家を出る時間が同じで、授業の始まりと終わりも固定されたスケジュールでしたが、大学の時間割は午前で講義が終了だったり、11時から授業が始まったりと、毎日同じ時間で動くことが少ないです。そのため、スケジュール管理をきちんとするようになりまし。講義が終わった後、何をするか、バイトは何時からかなど計画的に動くためにも、高校時代から勉強の予定をきちんと立てたりする習慣は大事だと思います。続いて、大学内での生活で感じたことを紹介します。まず感じたのは、大学の先生は面白い方が多いということです。講義で話される内容がどんどん広がっていき、1コマ90分の中で、たくさん話を伝えられます。また、バイト先などで色々な大人と巡り合う機会もとても新鮮に感じます。表題にも書きましたが、社会人基礎力をつけるためには、自炊やお金の管理、スケジュール管理が重要

社会人になって

自分から積極的に取り組む

西高第64回卒業生（平成29年） 山口 雅弘

初めまして。同窓生の山口雅弘です。新社会人として、同じ不安や期待を抱える同期の皆さんや同窓生の皆さんに、自身の仕事や生活についてお伝えする機会をいただいたので、紹介しようと思います。

私は今、鳥根県の児童自立支援施設で児童福祉の仕事に携わっています。施設では、様々な理由から支援を必要とする児童・生徒を対象に、「自立し、社会に出るために必要なスキルや考え方を生活や日課を共にする中で身につけさせていく」という仕事をしています。

記事した通り、様々な理由で入所している子供達に対し、一定の基準で接することはかえって子供のニーズに合わない支援となってしまうことが多く、それぞれの子供のケースや特性を十分に理解し、一人ひとりにあった支援を展開していくことに難しさを感じています。幸運にも、職場の上司や先輩に恵まれ、支援が難しい子供

に対するアプローチの糸口や関係各所の中でその子供の支援計画はどのように計画されているかなど支援チームの一員として一緒に支援する体制を整えていただくことで日々の難題へぶつかることができています。

だと思えますが、1番は色々な人間とかかわることが大事だと感じます。このご時世なので大学生活まだまだ不安もありますが、毎日目標をもって頑張ろうと思います。

自分自身、人と話したり遊んだりすることが好きな性格ということもあり、自分から悩みや相談ごとがあれば積極的に話してみたり、当直の夜勤明けには、近くの日帰り温泉などに行き、仕事以外の話をして、サポートしてもらえ

て、現在入所している子供達も同じです。子供と接する中で、子供の「感情」に触れる仕事をしているため、子供と共有する時間を大切にし、同じ「感情」を共有することにより子供に対して受容される存在であるよう意識しています。新卒で様々な方面で活躍している同期の皆さんやこれから職業に就く皆さん、すでに仕事についておられる皆さんと、この新型コロナウイルスの自粛期間が終わったとき、それぞれの仕事の楽しいところや愚痴などをお酒のつまみにして会えることを楽しみにしています。



教育実習で指導力を養う山口君

# 事務局より

**今年8月21日(土)の  
尚操会総会は中止です**

今年も新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、ワクチン接種が進んではいませんがまだまだ予断を許さない状況です。先日の役員会では、今年8月21日(土)に開催を予定していましたが、尚操会総会を残念ながら中止とし、併せて役員・支部長・副支部長合同会議も取りやめることにしました。

また、会報『尚操』の配布についていくつかの支部から出された、負担が大きいのので検討して欲しいという声を受け、昨年度は各

## 講師紹介 菅 達人 (すがの・たつひと) さん



### ■プロフィール

昭和53年(倉吉西高第25回卒)  
高校入学後、吹奏楽部(音楽部)を創部し3年間部長を務める。大学では管弦楽部に所属し、作曲家近衛秀健氏の指導を受ける。卒業後は鳥取県警察官となり、その後警察音楽隊に入隊。奏者を経て楽長に就任し約30年間勤務する。令和2年3月退職

## 尚操会 ホームページ紹介

【公式】尚操会 | 鳥取県立倉吉西高等学校同窓会  
<http://shosokai.info/index.html>

「倉吉西高同窓会」で **検索**



支部の意向に沿っての配布としましたが、この度の役員会で協議した結果、今年から各支部に100部ずつ配布し、各支部世話人等の方が、地域のコミュニティセンターや老人福祉施設等に置かせていただくように依頼していただく方法に変更することにしました。会報『尚操』は尚操会ホームページでも見ていただくことができ、尚操会事務局(倉吉西高)には予部がありますので、追加が必要な支部は事務局までお申し出ください。

なお、**来年度(令和4年度)の尚操会総会は、8月20日(土)に倉吉シティホテルで予定しています。**昨年・今年はやむを得ず中止となりましたが、来年こそ開催でき、**来年度(令和4年度)の尚操会総会は、8月20日(土)に倉吉シティホテルで予定しています。**昨年・今年はやむを得ず中止となりましたが、来年こそ開催でき、

きることを願っています。来年度の総会は平成5年(40回期)、平成25年(60回期)の卒業生の方々に幹事学年をお願いします。よろしく願います。

**第3回尚操会グラウンドゴルフを楽しむ会**  
昨年6月に第2回グラウンドゴルフを楽しむ会を開催しましたが、今年(11月頃)に計画しています。コロナウイルス感染予防に取り組み、楽しい会にしたいと考えています。コロナ

**尚操会名簿を  
発刊しました**

昨年(令和2年)10月に、8年ぶりの『尚操会名簿』を発刊しました。会員の皆様には大変お世話になりました。購入を希望される方は尚操会事務局(倉吉西高)までご連絡ください。

- 1冊 3,600円  
(振込手数料・送料が別途必要)

**創立百周年記念誌  
販売中です**

創立百周年記念誌の購入を希望される方は、尚操会事務局(倉吉西高)までご連絡ください。

- 1冊 5,000円  
(振込手数料・送料が別途必要)